

## 保育のヒント～「科学する心」を育てる～

夢中になって砂や水の遊びをする／学校法人鹿児島竜谷学園 草牟田幼稚園

子どもが真剣に行っている行為をよく見ると、子どもの思いや考えを読み取ることができます。この事例は、「科学する心」が育まれている満3歳児の3つの場面です。保育者は写真を活かし、遊んでいる子どもの姿に着目することで、見逃してしまいがちな小さな心の動きを見取っています。そして、見取った子どもの姿を細やかに分析し、体験していることや子どもの状況を捉えています。このように折々の場面が結びつく記録や分析により、「科学する心が育まれる」経過を掴むことが期待できます。



### ○ 満3歳児の砂・水遊び／3歳児

#### ✦ 場面1

##### 1.砂が溶けてる！



ザルに砂を入れ、ザルを振って砂が落ちてくることを楽しんでいる。

##### 2.あれ？砂が石になった



ザルに砂を入れ、振ると石が残る。Aちゃんは、砂が石に変身したと感じ、疑問と驚きを感じている。

<疑問・驚き>

#### ✦ 場面2

##### 1.水に手を入れて動かすと船が動いた！



たらいに溜めた水にカップを浮かべ、船に見立てて楽しんでいる。

##### 2.ここから滑らせたらどうなるのかな？



**波の発見！**

たらいでの遊びに満足したBちゃんは、船を持ってすべり台へ…<ひらめき・発想・遊びの発展>

### ✦ 場面3

1.なんで? どうして? はまらないのかな?



Cちゃんはいくつかの容器の中からキャップと容器を選んだが、何故かはまらない。いくつかのキャップと容器を合わせてみる。<疑問・試行錯誤>

2.あれ? 水が出てこない。どうしよう。



ようやくキャップと合う容器を見付け、水を入れようと水道へ行き蛇口に容器の口を入れたのだが、水が出ない<疑問・考える>

3.そうだ! こうしてみよう!



たらいのところへ行き、カップで容器に水を入れる。<発見・気付き・学び>

4.ついに目標達成!



水の入った容器を手で押し、ピューと水が出てきた!! ようやく水鉄砲の完成! <達成感・満足感・自信>

### ✦ 考察

子どもたちの様子は一見、同じことの繰り返しをしていたり、途中で急に遊びを変えたりなど、自由気ままな行動をしているように見える。しかし、子どもたちは遊びの中で、心の内に自分なりに疑問や思いをもち、考え、追求している。ただ遊んでいるのではない、その姿にこそ「科学する心」が現れているのではないか。満3歳児の小さな動きに着目したことで、保育者が子どもの心の内に寄り添い、それに大いに共感して関わっていくことの必要性を感じている。

無断転載を禁ず。引用する場合は下記を必ず明記願います。

「(C)公益財団法人 ソニー教育財団

ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」